

WVU-43 進行反射メーター

(SMA コネクタ一、50 オーム、1.8~144MHz 帯用)

取扱説明書



2023/03/13

7L4WVU

1. はじめに

本書は、WVU-43 進行反射メーターについて記載したものです。

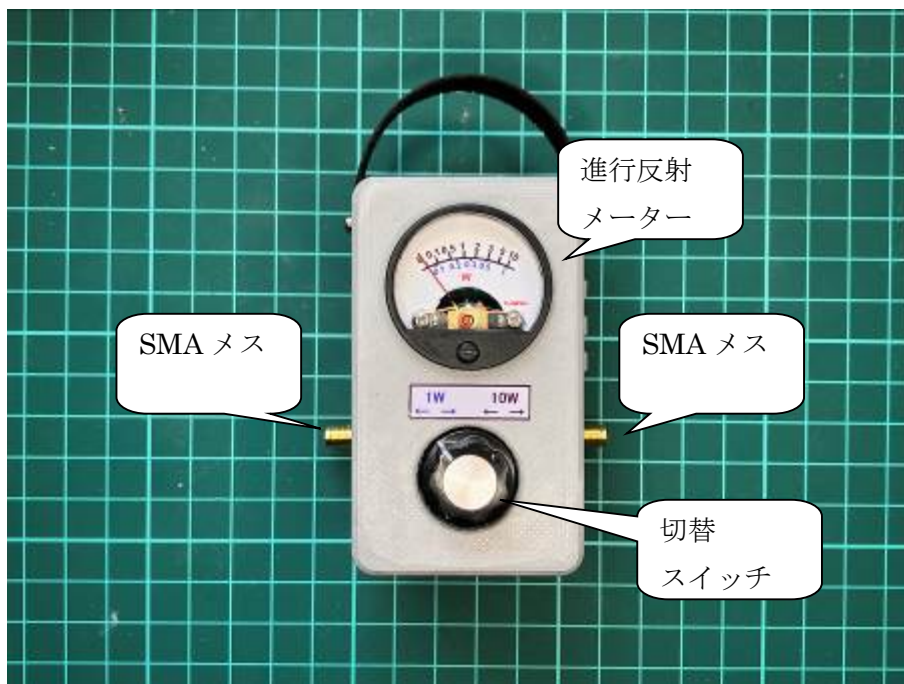
FT8などのデジタルモードの普及により QRP トランシーバーでも海外局との交信チャンスが増えてきました。そういう時に市販のパワー計では1W以下のパワーがみれないものが殆どですので、100mW~1Wのレンジもみれるものを製作してみました。外観は、プロの無線屋さんで広く使われている米国バード社の43型パワー計のミニ版にして、見た目も楽しくなるようなものにしました。

注意事項

- ①本装置は、販売目的の商品ではなく、私が趣味で製作したものを愛好家の皆様に実費で頒布するものです。
- ②3Dプリンターを用いた自作品です。ケースに傷や変形がある場合があります。
- ③高温の車内などにおいておくと変形する可能性があります。
- ④長期使用や温度変化で実際の電力と差が出たときは、説明書を見て校正してお使いください。
- ⑤仕様は、適宜変更されます。
- ⑥万一の事故や損失が生じた場合でも、当方は一切責任を負いません。不具合の際は、写真等を添付してお問い合わせください。ベストエフォートで対応します

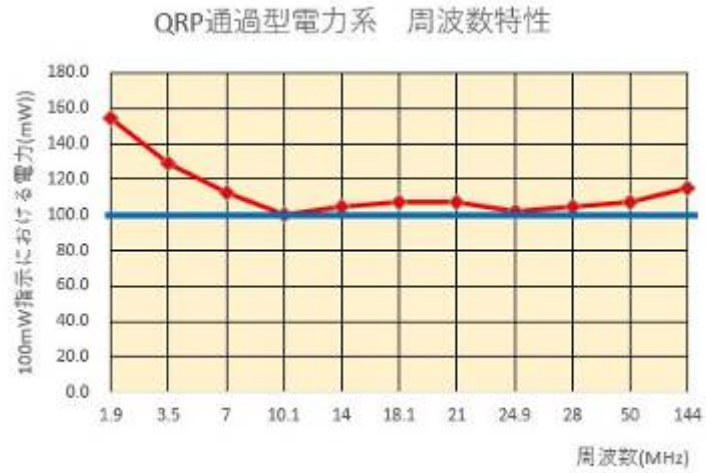
2. 外観

外観と名称を示します。入出力は、左右のどちらでも使用できます。切替スイッチの→の方向の電力を示します。



3. 仕様

①周波数 1. 8～144MHz (10MHz以下と50MHz以上は、実際より感度が悪く誤差があります)。個体差はありますが、100mW指示における特性は以下のような感じになります。

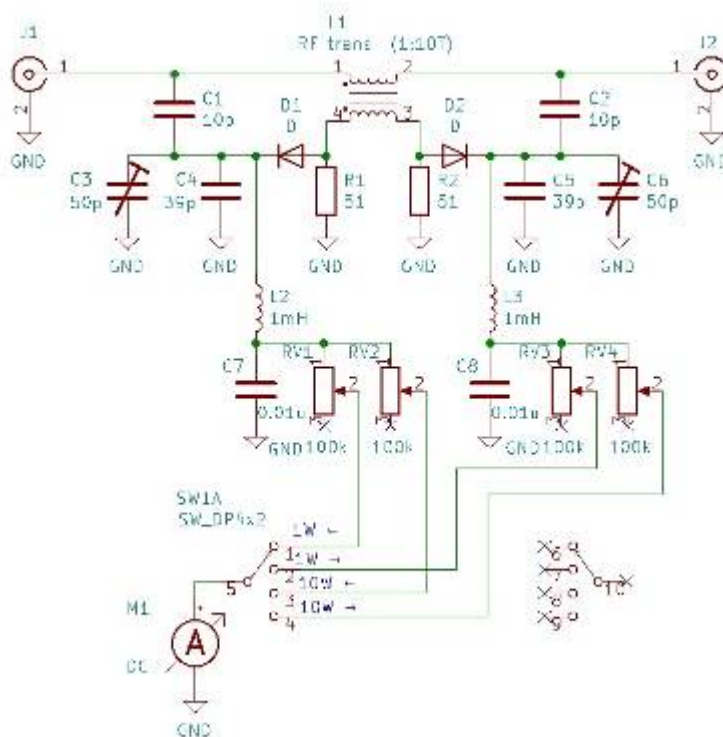


②インピーダンス 50Ω

③入出力端子 SMAメス

④切替スイッチ 10Wフルスケール →方向の電力
 10Wフルスケール ←方向の電力
 1Wフルスケール →方向の電力
 1Wフルスケール ←方向の電力

4. 回路図

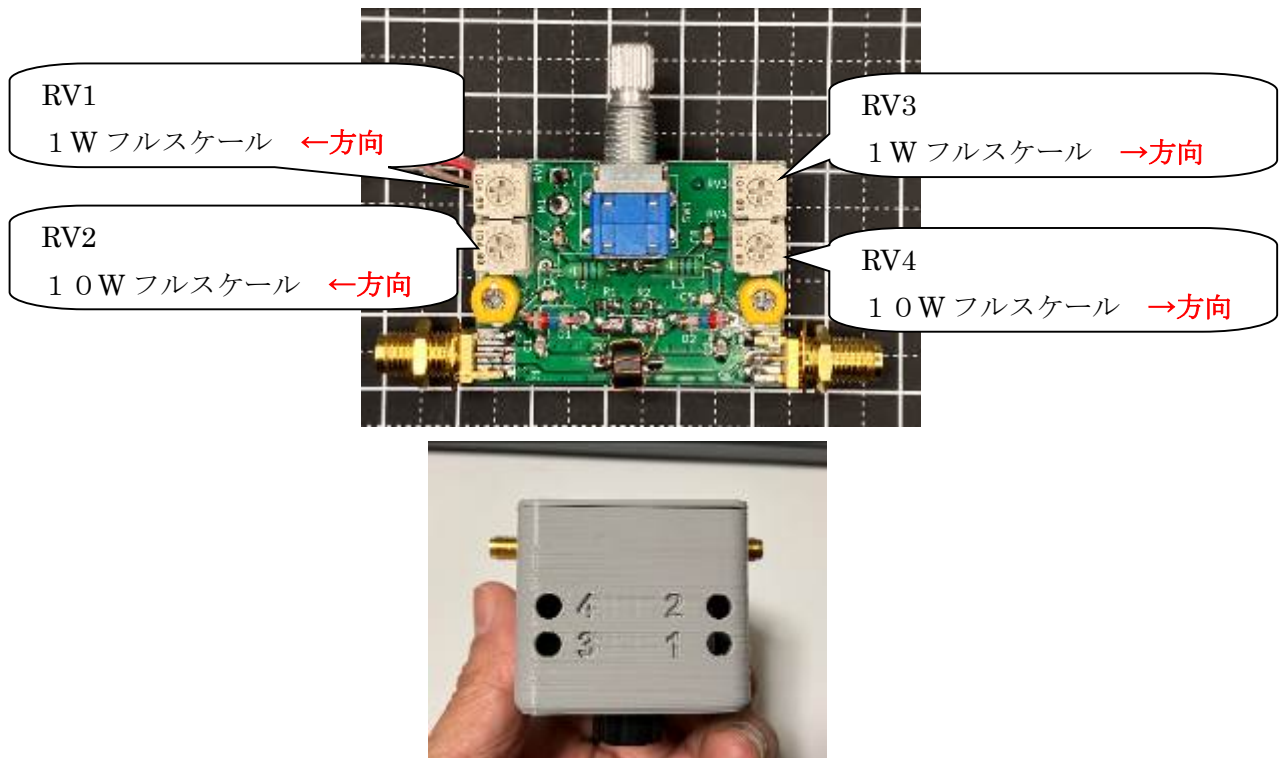


5. 調整

調整は、21MHzで行っています。C3,C6のトリマコンデンサ（黄色）は方向性比の調整用最適に合わせていますので必要がなければ触らないようにしてください（これを触ると調整が非常に難しくなります）。

温度や経年変化により使用していて誤差が大きいと感じた場合は、10W出力の送信機、1W出力の送信機を使って基板のボリュームをそれぞれ回すことで調整できます。本体底に穴があいており回せるものもあります（写真）。

10Wフルスケール	→方向の電力	RV4
10Wフルスケール	←方向の電力	RV2
1Wフルスケール	→方向の電力	RV3
1Wフルスケール	←方向の電力	RV1



ご不明点は、メール（714wvu@jarl.com）でご質問お願いします。